



平成 18 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 株式会社 村上開明堂
 代表者名 取締役社長 武藤 忠義
 コード番号 7292 東証第 2 部
 問合せ先 常務取締役経理部長
 小川 忠彦
 TEL(054) - 286 - 2161

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 11 月 18 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. (個別) 通期業績予想数値の修正 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 11 月 18 日発表)	44,900	850	1,900
今回修正予想 (B)	45,600	1,270	2,650
増減額 (B - A)	700	420	750
増減率 (%)	1.6	49.4	-
前期(平成 17 年 3 月期)実績	41,514	1,021	610

2. (連結) 通期業績予想数値の修正 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 11 月 18 日発表)	51,500	800	600
今回修正予想 (B)	53,700	1,020	430
増減額 (B - A)	2,200	220	170
増減率 (%)	4.3	27.5	-
前期(平成 17 年 3 月期)実績	45,322	647	61

3. 修正の理由

(1) 個別業績

ミラーシステム事業部門において、主力の自動車用バックミラーの販売が好調に推移し、売上高は前回予想値を上回る見込みとなりました。また、原油価格高騰などの影響により原材料費が高止まりした影響もありましたが、下期は増収効果に加え、販売数量の増加による固定費負担の軽減もあり、経常利益は前回予想値を上回る見込みとなりました。

一方、北米子会社「Murakami Manufacturing U.S.A. Inc.」の収益は改善傾向にあるものの、黒字に転換するまでには至っておらず、昨年 12 月に実施した同子会社向け増資分 9 百万ドルの株式評價損 1,068 百万円を特別損失で計上することにより、当期純利益は前回予想値を下回る見通しとなりました。なお、上記の特別損失につきましては、連結業績には影響いたしません。

(2) 連結業績

個別業績が上記理由により、経常利益段階で増益見通しとなることに即して前回予想値を修正いたします。

以上